

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (382), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial data for fiscal years 30, 31, and 32.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善案及び展開方向. Includes a status legend at the top.

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	385	課コード	0504	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)														
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 日常生活支援の充実	実施計画への位置づけ		●有 ○無		②部課名	健康福祉部・障害福祉支援課						
		個別事業 コミュニケーション支援事業												
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	○我孫子 ○天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐 ■全市									
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	1人 (換算人数) 0.05人									
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初) 5,870千円 (うち人件費 440千円)								
				(変更後)	千円 (うち人件費 千円)									
(2) 目的	⑧施策の位置づけ	施策コード	33302	重点プロジェクトへの位置づけ	重点5		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無 (計画名) 我孫子市障害者プラン						
	施策目的・展開方向	住みなれた地域で自立した生活が営めるよう、障害福祉サービス提供事業者に対し適切な支援・指導を行い、日中活動の場や住まいの場、在宅福祉サービスの充実を図ります。				事業目的								
(3) 事業内容	内容	随時、障害者の情報保障をする。 ■手話通訳者養成講座の開催 ■手話通訳者派遣事業 ■手話通訳者設置事業 ■要約筆記派遣事業 ■行政事務等への通訳者派遣事業				障害を持つ方が社会生活を営む上で不可欠なコミュニケーション確保のため、障害者のコミュニケーション支援員の養成及び派遣を行い、必要な情報等を得ることができる体制を整備します。								
		当該年度執行計画 ■手話通訳者派遣事業 4月・通訳者登録事務・派遣登録申請受付・決定 一随時派遣 ■手話通訳者設置事業 月～金午前9時から午後4時 ■行政事務等への通訳者派遣事業 随時 ■手話通訳者養成講座の開催 平成31年度は前期講習、27回開催 ■登録通訳者の現任研修				当該年度活動結果指標								
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類		指標		単位	件	想定値	実績値		
	より多くのサービス利用可能者がサービスを受けることができる。				直接		利用者数/利用申請者数		%		100	100		
	より多くのサービス利用可能者がサービスを受けることができる。				直接		利用者数/利用申請者数		%			100		
	より多くのサービス利用可能者がサービスを受けることができる。				直接		利用者数/利用申請者数		%			100		
	より多くのサービス利用可能者がサービスを受けることができる。				直接		利用者数/利用申請者数		%			100		
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討		○有 ●無							
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度						
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
			派遣事業費 通訳者保険料 筆耕翻訳料 コミュニケーション支援事業を行う 3号嘱託職員 3,610千円×1人 手話通訳者講習会講師報酬費	627 51 300 3,610 728		派遣事業費 通訳者保険料 筆耕翻訳料 コミュニケーション支援事業を行う 3号嘱託職員 3,703千円×1人 手話通訳者講習会講師報酬費	723 61 203 3,703 740				派遣事業費 通訳者保険料 筆耕翻訳料 コミュニケーション支援事業を行う 3号嘱託職員 3,703千円×1人 手話通訳者講習会講師報酬費	723 61 203 3,703 740		
			合計	5,316		合計	5,430			合計	5,430		合計	5,430
			補助率 31%	1,666		補助率 31%	1,683			補助率 31%	1,683		補助率 31%	1,683
(9) 財源内訳	国庫支出金		補助率 31%	1,666	国庫支出金		補助率 31%	1,683	国庫支出金		補助率 31%	1,683		
	県支出金		補助率 15.5%	833	県支出金		補助率 15.5%	841	県支出金		補助率 15.5%	841		
	起債		充当率 0%	0	起債		充当率 0%	0	起債		充当率 0%	0		
	一般財源		2,817	一般財源		2,906	一般財源		2,906	一般財源		2,906		
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.05	換算人数(人)		0.05	換算人数(人)		0.05	換算人数(人)		0.05		
	正職員人件費		440	正職員人件費		440	正職員人件費		440	正職員人件費		440		
	嘱託職員報酬額		3,610	嘱託職員報酬額		3,703	嘱託職員報酬額		3,610	嘱託職員報酬額		3,610		
	臨時職員賃金額		0	臨時職員賃金額		0	臨時職員賃金額		0	臨時職員賃金額		0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		5,756	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		5,870	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		5,870	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		5,870			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		25.03千円/件		27.95千円/件										

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
評価項目		事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	手話通訳者や要約筆記奉仕員を派遣し、意思伝達の手段を確保することで、コミュニケーションに障害を有する方の情報保障の推進を図っていく必要があります。又、聴覚障害者は、災害時の情報等緊急時や通常の社会生活を営むにあたって近隣住民とのコミュニケーションが取りづらい等の不便を強いられていますので、ファックスやテレビ電話や携帯等を活用し、情報保障をしていく必要があります。地域生活支援事業の必須事業です。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
	(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ○②自治体である市が推進すべきである (理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他				□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>				○要 ○不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		改善検討	
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要	
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		改善検討	
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要	
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (%)	目標値 (b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成		改善検討	
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である		実績値 (f) (%) 達成率 (%) (f/b × 100)		<目標を達成した理由/未達成となった原因>			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		改善検討	
	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	■①国・県助成制度活用 □②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託		実績値 (g) (千円) 対事業費 (%) (g/c) × 100		○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>			
	5,870	△114	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他 <削減の内容>		<超過理由等>					
事業費削減率 (%)		△1.98								
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		改善検討	
	1.7		●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値 (h) 対目標値 (%) (h/e) × 100		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>			

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									
評価	評価コメント					改善策及び展開方向			

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (390), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (394), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial breakdowns for fiscal years 30, 31, and 32.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, citizen participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a row for overall status (現状どおり推進, etc.) and a row for evaluation comments.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (395), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (396), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for Section 1: 事業の概要 (PLAN). Includes sub-sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget and personnel data.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	397	課コード	0504	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)																
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 日常生活支援の充実 個別事業 心身障害者（児）一時介護料の助成	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	健康福祉部・障害福祉支援課									
	③事業主体	●市 ○その他（ ）	④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市												
	⑤事業期間	～	⑥担当職員数	1人（換算人数）		0.05人										
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費 0千円	当該（開始）年度	（当初）	1,670千円（うち人件費 440千円）											
	⑧施策の位置づけ	施策コード 33302	重点プロジェクトへの位置づけ	重点5		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	（計画名） 我孫子市障害者プラン						
(2) 目的	施策目的・展開方向	住みなれた地域で自立した生活が営めるよう、障害福祉サービス提供事業者に対し適切な支援・指導を行い、日中活動の場や住まいの場、在宅福祉サービスの充実を図ります。			事業目的	在宅で障害児・者を介護している保護者が、疾病等の理由により家庭内での介護が困難となり、障害児・者を一時的に有料で介護人に委託した場合に、介護委託料及び介護証明手数料の一部を助成することで、障害児・者及び保護者の福祉の向上を図ります。										
(3) 事業内容	内容	助成対象となる保護者：本市に住所を有し、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている障害児（者）を家庭内において介護している者。 助成の対象となる介護人：福祉に理解と熱意を有するもの。（ただし、障害者（児）と同一の住居に居住し、かつ、生計を一にしている者及び二親等内の直系血族及び直系姻族並びに配偶者は、除く） （地域生活支援事業で提供される「日中一時支援事業」は所得等に応じた利用者負担額を設定したため、本助成の対象外） 助成金額：4時間未満の委託⇒日額2,500円以内 4時間以上の委託⇒日額5,000円以内 年間50,000円を限度に助成 助成方法：保護者が介護委託をした場合、介護委託時間及び介護委託料を介護人に証明してもらった助成申請書を提出し、4か月分をまとめて、銀行振込			当該年度執行計画	助成申請書は、随時受付 8月・12月・4月に助成			当該年度活動結果指標	一時介護助成利用者数	単位	人	想定値	41	実績値	
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値							
当該年度	対象者に一時介護料を助成し、福祉の向上を図ります。			間接	一時介護助成利用者数		人	40	41							
令和2年度	対象者に一時介護料を助成し、福祉の向上を図ります。			間接	一時介護助成利用者数		人		41							
令和3年度	対象者に一時介護料を助成し、福祉の向上を図ります。			間接	一時介護助成利用者数		人		41							
(7) 事業実施上の課題と対応	利用者は年々減少傾向にあるが、介護者の疾病などによる緊急対応や一時的な介護負担の軽減など、セーフティネットとしての性質を持つ事業であり、現行どおり事業を継続していきます。			代替案検討	○有 ●無											
(8) 施行事項	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度									
	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)							
		心身障害者（児）一時介護助成費	1,170		心身障害者（児）一時介護助成費	1,230		心身障害者（児）一時介護助成費	1,230							
	予算(決算)額	合計	1,170	合計	1,230	合計	1,230	合計	1,230							
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0							
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0							
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0							
	一般財源		1,170		1,230		1,230		1,230							
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0							
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.05		0.05		0.05		0.05							
	正職員人件費		440		440		440		440							
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0							
	臨時職員賃金額		0		0		0		0							
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		1,610		1,670		1,670		1,670							
(11) 単位費用	（事業費/活動結果指標）		46千円/人	40.73千円/人												

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	障害児（者）の福祉サービスは、制度の改正に合わせて必要ときに必要なサービスを受けられる体制を整えてきたが、それだけでは充足しきれないニーズに機敏に対応するため、本制度があります。保護者が介護疲れにより、リフレッシュしたい時等身近な知り合いや近所の人にも障害児（者）の介護を委託可能にする本制度は、障害児（者）を介護する家族、障害児（者）本人にとって必要なサービスです。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない （理由） <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない ■その他		<その他の内容> 助成事業であるため		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	<input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (人)	目標値(b) (人)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要	
	40	41	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している <input type="checkbox"/> ②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> ③現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> ④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値（と現況値の差）と同等の水準である		実績値(f) (人)	達成率(%) (f/b×100)			
					<目標を達成した理由/未達成となった原因>				
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ○不要
	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	■①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託		実績値(g) (千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	1,670	△60	<削減の内容>		<超過理由等>				
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要
	2.46		単位	費用単位	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
			人	10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費				

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	398	課コード	0504	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 日常生活支援の充実 個別事業 障害児者一時支援事業	実施計画への位置づけ		●有 ○無		②部課名	健康福祉部・障害福祉支援課		
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市					
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	1人 (換算人数) 0.1人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初) 39,063千円 (うち人件費 880千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	33302	重点プロジェクトへの位置づけ	重点5	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)	我孫子市障害者プラン
(2) 目的	施策目的・展開方向	住みなれた地域で自立した生活が営めるよう、障害福祉サービス提供事業者に対し適切な支援・指導を行い、日中活動の場や住まいの場、在宅福祉サービスの充実を図ります。			事業目的	障害を持つ方の一時支援の場を提供し、家族や介護者の一時的な休息を可能にすることや、事情により介護や見守り等ができないとき、一時的に過ごすことのできる場所やサービスを地域で保障することで、保護者やその家族がともに安心して暮らしていただけるようになります。				
(3) 事業内容	内容	障害を持つ方の日中の一時支援の場を提供し、家族や介護者の一時的な休息を可能にすることや、事情により介護見守り等ができないとき、一時的に過ごすことのできる場所やサービスを地域で保障することで、保護者やその家族がともに安心して暮らしていただけるようになります。日中（午前7時～午後7時）の一時支援は、市と委託契約した事業所において実施しています。			当該年度執行計画	日中の一時支援 利用申請受付 随時 利用決定 随時 決定通知書の交付 随時 事業所への委託料の支払い 毎月 必要に応じた委託契約の実施				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標	単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	障害児者の家族や介護者への一時的な休息の提供				間接	一時支援事業の年間実利用人数	人	140	140	
令和2年度	障害児者の家族や介護者への一時的な休息の提供				間接	一時支援事業の年間実利用人数	人		145	
令和3年度	障害児者の家族や介護者への一時的な休息の提供				間接	一時支援事業の年間実利用人数	人		150	
(7) 事業実施上の課題と対応	障害者の社会参加と家族の介護負担軽減や家族の就労を支援するためには重要な事業です。今後もサービスの充実を図るためにも、事業者の拡大等について検討していきます。18歳未満の障害児者については、「放課後等児童デイサービス」を利用できるため、対象児童の適切なアセスメントに努める必要があります。				代替案検討	○有 ●無				
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度		
		内容	金額(千円)	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)
		日中一時支援事業委託料 日中一時支援事業を行う2号嘱託職員 2,446千円×0.5人	37,152	日中一時支援事業委託料 日中一時支援事業を行う2号嘱託職員 2,446千円×0.5人	36,960		日中一時支援事業委託料 日中一時支援事業を行う2号嘱託職員 2,446千円×0.5人	36,960	日中一時支援事業委託料 日中一時支援事業を行う2号嘱託職員 2,446千円×0.5人	36,960
			1,223		1,223			1,223		1,223
		合計	38,375	合計	38,183		合計	38,183	合計	38,183
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 30%	11,517	補助率 31%	11,836	補助率 31%	11,836	補助率 0%	11,836	
	県支出金	補助率 15%	5,758	補助率 15.5%	5,918	補助率 15.5%	5,918	補助率 0%	5,918	
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	
	一般財源		21,100		20,429		20,429		20,429	
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.1		0.1		0.1		0.1	
	正職員人件費		880		880		880		880	
	嘱託職員報酬額		1,223		1,223		1,223		1,223	
	臨時職員賃金額		0		0		0		0	
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		39,255		39,063		39,063		39,063	
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	230.91千円/人		279.02千円/人							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
	日中の一時支援は、障害者総合支援法の地域生活支援事業に位置付けられています。通所サービス利用後や、休日の一時支援の場は、ニーズの高いものになっています。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) <input type="checkbox"/> 市が主導で進めることにより実効性が得られる <input type="checkbox"/> 市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input type="checkbox"/> 市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>						○要 ○不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (人)	目標値(b) (人)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要	
	140	140	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f) (人)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ○不要
	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	■①国・県助成制度活用 □②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託		実績値(g) (千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	39,063	192	<削減の内容>		<超過理由等>				
事業費削減率(%)		0.49							
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要
	0.36		●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善案及び展開方向					

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	400	課コード	0504	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)									
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 日常生活支援の充実	実施計画への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		②部課名	健康福祉部・障害福祉支援課		
	③事業主体	個別事業 権限移譲に伴う障害福祉サービス事業者指定事務	④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市					
	⑤事業期間	●市 ○その他 ()	⑥担当職員数	5人 (換算人数)		1.2人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 0千円	当該(開始)年度	(当初)	11,764千円 (うち人件費 10,560千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード 33302	重点プロジェクトへの位置づけ 重点5	基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		部門別計画への位置づけ	(計画名) 我孫子市障害者プラン	
(2) 目的	施策目的・展開方向	住みなれた地域で自立した生活が営めるよう、障害福祉サービス提供事業者に対し適切な支援・指導を行い、日中活動の場や住まいの場、在宅福祉サービスの充実を図ります。			事業目的	事業者の適切な指定と、指定事業の実施について指導及び命令を行います。			
(3) 事業内容	内容	我孫子市に事業所を置く、指定障害福祉サービス事業者（居宅介護・短期入所・共同生活援助・相談支援事業）の監査及び指定に関する権限を平成19年4月から、千葉県から移譲を受けたことにより、所定の事務を行います。 障害者総合支援法に規定されている事務のうち千葉県より権限移譲されている対象事業に対してLWG AN-ASPサービスを利用した指定事業所管理システムを使用し、指定情報を管理します。			当該年度執行計画	サービス事業所の実地指導・・・18事業所（月約2事業所）			
		当該年度活動結果指標	実地指導の件数	単位	件	想定値	18		
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値
当該年度	適時事業者への情報提供や連携をすることで、不正支給を未然に防ぐことができます。			直接	事業者実地指導件数		件	18	18
令和2年度	適時事業者への情報提供や連携をすることで、不正支給を未然に防ぐことができます。			直接	事業者実地指導件数		件		19
令和3年度	適時事業者への情報提供や連携をすることで、不正支給を未然に防ぐことができます。			直接	事業者実地指導件数		件		20
(7) 事業実施上の課題と対応	平成29年10月の時点で市内の指定及び実地指導権限を持つ事業所が42事業所となっており、3年に1回の監査基準を満たすためには年間14事業所程度監査を実施する必要がある。			代替案検討	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目	事前評価		事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))		改善検討	
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	障害者総合支援法に基づく指定障害福祉サービス事業者及び相談支援事業を行う者の指定等の事務及び監査等を実施することで、自立支援給付対象サービス等の質の確保及び自立支援給付の適正化を図ることを目的としています。なお、「千葉県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例(平成12年3月24日条例1号)」に基づき指定及び監査に関する権限を千葉県から移譲されて実施しているものです。		○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要	
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他	<その他の内容>	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)	参加・協働の程度・内容
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)		○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし			○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容	環境への配慮
	環境に配慮して事業を進めているか？		□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし			○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(件)	目標値(b)(件)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成
	18	18	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(件)	達成率(%) (f/b×100)
					<目標を達成した理由/未達成となった原因>	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況	○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 □⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>	
6.17						事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況	○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下
	0.15	単位 費用単位 件	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100
				<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)	
評価コメント	改善策及び展開方向

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	401	課コード	0504	会計種別	一般会計	予算の種類	□政策 □経常 ■なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)														
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 日常生活支援の充実 個別事業 特別児童扶養手当法定受託事務	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	健康福祉部・障害福祉支援課							
	③事業主体	○市 ●その他（厚生労働省）		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市									
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	2人（換算人数） 0.3人									
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	0千円		当該（開始）年度	（当初）	2,640千円（うち人件費 2,640千円）		（変更後）	千円（うち人件費 千円）				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	33302	重点プロジェクトへの位置づけ	重点5		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	（計画名） 我孫子市障害者プラン			
(2) 目的	施策目的・展開方向	住みなれた地域で自立した生活が営めるよう、障害福祉サービス提供事業者に対し適切な支援・指導を行い、日中活動の場や住まいの場、在宅福祉サービスの充実を図ります。			事業目的	身体・知的または精神に中～重度の障害を有する20歳未満の児童を監護する父または母、若しくは父母に代わって児童を養育している者へ手当を支給することにより、障害児の生活の向上に寄与し、福祉の増進を図ります。								
(3) 事業内容	内容	①手当の認定や手当額の改定の請求の受理及びその請求に係る事実についての審査に関する事務 ②届出事項の変更や所得状況、障害状態の届出等の受理及びその届出に係る事実についての審査に関する事務 ③手当に関する通知書や証書の送付に関する事務 ④手当に関する証書の記載事項の訂正に関する事務			当該年度執行計画	①手当の認定や手当額の改定の請求の受理及びその請求に係る事実についての審査に関する事務（随時） ②届出事項の変更の届出の受理及びその届出に係る事実についての審査に関する事務 ③所得状況の届出の受理及びその届出に係る事実についての審査に関する事務（8月11日～9月10日） ④障害状態に関する届出の受理及びその届出に係る事実についての審査に関する事務（7月、11月、3月） ⑤手当に関する通知書や証書の送付に関する事務（随時） ⑥手当に関する証書の記載事項の訂正に関する事務（随時）								
(4) 達成目標（期待する成果）	達成目標（期待する成果）				指標種類	指標		単位	人	想定値	220			
当該年度	適正な事務処理の実施				直接	事務処理率（事務処理件数/処理すべき事務数）		%		実績値	100			
令和2年度	適正な事務処理の実施				直接	事務処理率（事務処理件数/処理すべき事務数）		%			100			
令和3年度	適正な事務処理の実施				直接	事務処理率（事務処理件数/処理すべき事務数）		%			100			
(7) 事業実施上の課題と対応	国からの法定受託事務のため、今後も継続して事業を行います。				代替案検討	○有 ●無								
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度						
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
			特別児童扶養手当法定受託事務		特別児童扶養手当法定受託事務	事務取扱交付金 1,838円×220人=404,360円 (人件費比率15.3%)			特別児童扶養手当法定受託事務	事務取扱交付金 1,838円×220人=404,360円 (人件費比率15.3%)		特別児童扶養手当法定受託事務	事務取扱交付金 1,838円×220人=404,360円 (人件費比率15.3%)	
		予算(決算)額	合計	0	合計	0	合計	0	合計	0	合計	0		
		国庫支出金	補助率 0%	453	補助率 15.3%	404	補助率 15.3%	404	補助率 15.3%	404	補助率 15.3%	404		
県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0				
起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0				
一般財源		△453		△404		△404		△404		△404				
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0				
換算人数(人)		0.3		0.3		0.3		0.3		0.3				
正職員人件費		2,640		2,640		2,640		2,640		2,640				
嘱託職員報酬額		0		0		0		0		0				
臨時職員賃金額		0		0		0		0		0				
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		2,640		2,640		2,640		2,640		2,640				
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		10.56千円/人		12千円/人										

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））				改善検討
	地方自治法第2条第9項第1号に定める第1号法定受託事務であるため				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		<その他の内容>		<その他の内容>		○要 ○不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)		○①目標値達成 ○②目標値未達成	
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	(f/b)×100		<目標を達成した理由/未達成となった原因>	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		事業費の削減対策について		○要 ○不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	■①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100		○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要
	3.79		●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	(h/e)×100		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (402), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and evaluation comments.

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	403	課コード	0504	会計種別	一般会計	予算の種類	□政策 ■経常 □なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 日常生活支援の充実 個別事業 福祉タクシー初乗り料金の助成	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	健康福祉部・障害福祉支援課			
	③事業主体	●市 ○その他 ()	④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市						
	⑤事業期間	～	⑥担当職員数	2人 (換算人数)		0.3人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 0千円	当該(開始)年度	(当初) 17,063千円 (うち人件費 2,640千円)	(変更後)	千円 (うち人件費 千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード 33302	重点プロジェクトへの位置づけ	重点5		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)	我孫子市障害者プラン
(2) 目的	施策目的・展開方向	住みなれた地域で自立した生活が営めるよう、障害福祉サービス提供事業者に対し適切な支援・指導を行い、日中活動の場や住まいの場、在宅福祉サービスの充実を図ります。			事業目的	タクシー利用時に料金の一部を助成し、重度障害者の外出や社会参加を支援します。				
(3) 事業内容	内容	重度の心身障害者に対し福祉タクシー券を交付し、外出時に市と契約したタクシー事業者を利用したときに、乗務員に券を渡すことによって、タクシーの初乗り料金を差し引いて支払うことができる制度です。又、我孫子市では、契約外の事業者（主に市外事業者）を利用したときに、領収書と券を対にして市に申請することで、償還払いも受けることができます。 ■対象者 重度身体障害者 重度知的障害者 重度精神障害者 ■交付枚数 年間48枚（透析者は年間96枚） ■助成額 タクシー券1枚につき初乗り料金分			当該年度執行計画	タクシー券交付 償還払い分助成 利用者からの申請により、毎月助成 タクシー事業者支払分 事業所からの請求により、毎月支払い				
		当該年度活動結果指標	タクシー券交付人数	単位	人	想定値	1,100		実績値	
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	対象者にタクシー券を交付し、外出や社会参加を支援します。			間接	タクシー券交付人数		人	1,007	1,100	
令和2年度	対象者にタクシー券を交付し、外出時や社会参加を支援します。			間接	タクシー券交付人数		人		1,150	
令和3年度	対象者にタクシー券を交付し、外出時や社会参加を支援します。			間接	タクシー券交付人数		人		1,200	
(7) 事業実施上の課題と対応	障害者の社会参加や通院等の移動手段を確保するため、タクシー初乗り料金を助成しています。タクシー券の利用とタクシー事業者の障害者1割引制度を併用する等、効率的な支援を実施しています。			代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		償還払い分助成費	1,936	償還払い分助成費	1,286	償還払い分助成費	1,286	償還払い分助成費	1,286	
		タクシー事業者利用助成費	12,277	タクシー事業者利用助成費	12,927	タクシー事業者利用助成費	12,927	タクシー事業者利用助成費	12,927	
		タクシー利用券印刷	157	タクシー利用券印刷	160	タクシー利用券印刷	160	タクシー利用券印刷	160	
福祉タクシー券ナンバリング委託料	50	福祉タクシー券ナンバリング委託料	50	福祉タクシー券ナンバリング委託料	50	福祉タクシー券ナンバリング委託料	50			
予算(決算)額	合計		14,420	合計		14,423	合計		14,423	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	
	一般財源	14,420		14,423		14,423		14,423		
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0		0		0		0		
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.45		0.3		0.35		0.35		
	正職員人件費	3,960		2,640		3,080		3,080		
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0		
	臨時職員賃金額	0		0		0		0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	18,380		17,063		17,503		17,503			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	16.71千円/人		15.51千円/人							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	我孫子市は幅員の狭い道路が多くあるため、バスの運行ルートが制限され、国道を中心にバス停が設置されていることから、ドアtoドアでのタクシー利用は、車イス者や視覚障害者、内部障害による歩行制限がされている方々にとって、有効な交通手段です。福祉タクシー助成事業は、通院等をはじめとした外出の機会を支援し、障害者の日常生活の利便を図ることにより、障害がある方の社会参加を促進する必要な事業です。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない ■その他		<その他の内容> 助成事業であるため		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要	
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要	
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要	
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (人)	目標値(b) (人)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要		
	1,007	1,100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f) (人)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>			
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g) (千円)	対事業費(%) (g/c) × 100	<想定どおり削減できなかった原因>			
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>					
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下			
	6.45	単位 費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e) × 100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>			

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (404), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial data for fiscal years 2019, 2020, and 2021.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns: 評価, 評価コメント, 改善案及び展開方向. Includes a progress status legend and a space for evaluation comments and improvement directions.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (405), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial data for fiscal years 30, 31, and 2.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善案及び展開方向. Includes checkboxes for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充, etc.)

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	406	課コード	0504	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)												
(1) 事業概要	①事業名	基本事業	日常生活支援の充実		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	健康福祉部・障害福祉支援課			
		個別事業	障害者プランの策定・推進									
	③事業主体	●市 ○その他 ()			④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市						
	⑤事業期間	平成30年度 ~ 令和2年度			⑥担当職員数	2人 (換算人数) 0.15人						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	当(初)	1,320千円 (うち人件費 1,320千円)					
		変更後				千円 (うち人件費 千円)						
⑧施策の位置づけ	施策コード	33302	重点プロジェクトへの位置づけ	重点5	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名) 第5次健康福祉総合計画			
(2) 目的	施策目的・展開方向	住みなれた地域で自立した生活が営めるよう、障害福祉サービス提供事業者に対し適切な支援・指導を行い、日中活動の場や住まいの場、在宅福祉サービスの充実を図ります。			事業目的	障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス、地域生活支援事業のサービスの平成30年度から平成32年度までの提供体制の確保や充実のための目標値や方策を定め、計画の推進を図ります。						
(3) 事業内容	内容	この計画は、障害者総合支援法第88条第1項に基づく「障害福祉計画」と障害者基本法第11条に基づく「障害者計画」を一体的に策定した計画であり、ともに法律で定められた計画です。障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス等を通じて、平成30年度の地域移行や就労移行等の目標値を定めるとともに、目標に向けた平成30年度から平成32年度までの各障害福祉サービスや地域生活支援事業のサービス提供見込量等を定めた我孫子市障害者プランに沿ってサービス提供の推進を図ります。			当該年度執行計画	我孫子市障害者プランの進捗状況の報告及び進捗管理・点検について、障害者総合支援法に基づき設置されている自立支援協議会で行います。						
		当該年度活動結果指標	計画数値の達成率	単位	%	想定値	100	実績値				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値			
当該年度	我孫子市障害者プランの計画に基づき各種事業を実施する。			直接	計画の数値の達成率		%	93	100			
令和2年度	我孫子市障害者プランの計画に基づき各種事業を実施する。			直接	計画の数値の達成率		%		100			
令和3年度	我孫子市障害者プランの計画に基づき各種事業を実施する。			直接	計画の数値の達成率		%		100			
(7) 事業実施上の課題と対応	我孫子市障害者プランの推進を図るために、自立支援協議会に図りながら適切な進捗管理を行う。			代替案検討	○有 ●無							
(8) 施行事項	実施内容費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度				
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
			我孫子市障害者プランの進捗管理		我孫子市障害者プランの進捗管理					我孫子市障害者プランの進捗管理		
	予算(決算)額	合計	0	合計	0	合計	4,968	合計	0			
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%			
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%			
	起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%			
	一般財源		0		0		4,968		0			
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他				
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.15		0.15		0.9		0.15			
	正職員人件費		1,320		1,320		7,920		1,320			
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0			
	臨時職員賃金額		0		0		0		0			
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		1,320		1,320		12,888		1,320			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		13.2千円/%		13.2千円/%								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	この計画は、障害者総合支援法第88条第1項に基づく「障害福祉計画」と障害者基本法第11条に基づく「障害者計画」を一体的に策定した計画であり、ともに法律で定められた計画である。				<input type="checkbox"/> ①事前確認での想定どおり <input type="checkbox"/> ②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		<input type="checkbox"/> ①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input type="checkbox"/> ②市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> ③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> ④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> ⑤サービス水準が確保された <input type="checkbox"/> ⑥サービスの安定供給基盤が確保された <input type="checkbox"/> ⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫		参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容	
	<input type="checkbox"/> ①事業計画時に市民の参画有り <input checked="" type="checkbox"/> ②事業実施時に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ③管理・運営に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ④市民の自主的な活動と連携している <input type="checkbox"/> ⑤市民と共同で事業を実施 <input type="checkbox"/> ⑥その他 <その他の内容>		障害者プランの進捗状況や進捗管理について、自立支援協議会や市内障害福祉関係団体から意見聴取を行う。				<input type="checkbox"/> ①当初期待した以上 <input type="checkbox"/> ②当初期待したとおり <input type="checkbox"/> ③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	<input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> ⑤その他 <その他の内容> 該当なし						<input type="checkbox"/> ①想定どおり <input type="checkbox"/> ②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	<input type="checkbox"/> ①目標値達成 <input type="checkbox"/> ②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因>		○要 ○不要	
	93	100	<input checked="" type="checkbox"/> ①客観的なデータ・事実に基づき設定している <input type="checkbox"/> ②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> ③現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> ④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)			
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		<input type="checkbox"/> ①想定事業費未済 <input type="checkbox"/> ②概ね想定事業費以内 <input type="checkbox"/> ③想定事業費超過 <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	<input type="checkbox"/> ①国・県助成制度活用 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 <input checked="" type="checkbox"/> ②現行体制での対応 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ⑦その他 <削減の内容>		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100			○要 ○不要
	事業費削減率(%)		0		<超過理由等>				
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		<input type="checkbox"/> ①目標値以上 <input type="checkbox"/> ②目標値と同程度 <input type="checkbox"/> ③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		○要 ○不要
	0.53	単位	費用単位	<input type="checkbox"/> ①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 <input checked="" type="checkbox"/> ②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100			

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表（平成31年度）

Header table with columns: 事業コード (407), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (409), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and evaluation comments.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (411), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial breakdowns for fiscal years 30, 31, and 32.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes checkboxes for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充, 縮小) and a space for comments.

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	413	課コード	0504	会計種別	一般会計	予算の種類	□政策	■経常	□なし	
1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 日常生活支援の充実 個別事業 重度障害者（児）医療費の助成	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	健康福祉部・障害福祉支援課			
	③事業主体	●市 ○その他（ ）	④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市						
	⑤事業期間	～	⑥担当職員数	3人（換算人数）		0.7人				
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費 0千円	当該（開始）年度	（当初）	226,686千円（うち人件費 6,160千円）					
	⑧施策の位置づけ	施策コード 33302	重点プロジェクトへの位置づけ 重点5	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	（計画名）我孫子市障害者プラン		
(2) 目的	施策目的・展開方向	住みなれた地域で自立した生活が営めるよう、障害福祉サービス提供事業者に対し適切な支援・指導を行い、日中活動の場や住まいの場、在宅福祉サービスの充実を図ります。		事業目的	医療的支援が必要な重度の障害者（児）の医療機関への受診の機会を確保し、健康保持を増進します。また、電算処理システムを活用することで、助成対象者の資格審査事務の適正化、助成額計算処理の簡素化及び県補助申請等事務の効率化を図ります。					
(3) 事業内容	内容	疾病又は負傷について保険医療を受けた重度の障害者（児）が医療機関で診療を受けた場合、保険診療による自己負担額を助成します。重度障害者医療費助成システムを活用し、重度障害者医療費助成対象者の資格認定を適正に行うとともに事務処理の効率化を図ります。		当該年度執行計画	◎対象者の認定 ・医療費助成対象者の資格認定（随時）・医療費助成決定通知書・受給券・停止通知書の発行（7月） ◎助成事務 助成申請：随時 医療費給付：申請月の翌月末					
		当該年度活動結果指標	重度障害者（児）医療費給付者数	単位	人	想定値	1,650			
(4) 達成目標（期待する成果）	達成目標（期待する成果）			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	重度の障害者（児）が容易に必要な医療を受けられるようになります。			直接	重度障害者（児）医療費給付者数/重度障害者（児）医療費申請者数		%	100	100	
令和2年度	重度の障害者（児）が容易に必要な医療を受けられるようになります。			直接	重度障害者（児）医療費給付者数/重度障害者（児）医療費申請者数		%		100	
令和3年度	重度の障害者（児）が容易に必要な医療を受けられるようになります。			直接	重度障害者（児）医療費給付者数/重度障害者（児）医療費申請者数		%		100	
(7) 事業実施上の課題と対応	重度心身障害者の健康維持のために受診の機会を確保するためには重要な事業です。			代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
(9) 財源内訳	予算(決算)額	合計	226,310	合計	220,526	合計	220,302	合計	220,302	
(10) 人件費等	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	
	県支出金	補助率	44%	補助率	45%	補助率	45%	補助率	45%	
	起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	
	一般財源		114,935		113,435		113,211		113,211	
	その他の財源	□特会 □受益 □基金 ■その他	10,720	□特会 □受益 □基金 ■その他	10,720	□特会 □受益 □基金 ■その他	10,720	□特会 □受益 □基金 □その他	10,720	
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		232,470		226,686		226,462		226,462		
(11) 単位費用	事業費/活動結果指標	143.5千円/人		137.39千円/人						
2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
評価項目	事前評価				事後評価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））				改善検討	
(1) 事業が今必要である理由・背景は？（事業の必要性）	重度の障害者（児）は、日常生活を営む上で常に医療的なケアが必要となっており、その頻度も通常の場合よりも多く、これらの診療における医療費の自己負担が経済的な負担となっています。このため、重度の障害者（児）に対し、受診の機会を確保し、健康を維持するために受診時の医療費を助成する制度が必要です。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
	(2) 市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない（理由） ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要	
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要	
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要	
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要		
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値（と現況値の差）と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>			
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	■①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	<超過理由等>			
	事業費削減率(%)		<削減の内容>							
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	
	0.04	単位 費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100				
3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表(平成31年度)

事業コード 414 課コード 0504 会計種別 一般会計 予算の種類 政策 経常 なし

1. 事業の概要(PLAN)
(1) 事業概要
(2) 目的
(3) 事業内容
(4) 達成目標(期待する成果)
(7) 事業実施上の課題と対応
(8) 施行事項
(9) 財源内訳
(10) 人件費等

2. 事業の評価(DO+CHECK)

評価項目: (1) 事業が今必要である理由・背景は? (2) 市が実施する必要性はあるか? (3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (4) 環境に配慮して事業を進めているか? (5) 目標設定は適切か? (6) 事業費削減の工夫をしているか? (7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か?

3. 事後評価

現状どおり推進 拡充 縮小 結合 休止 廃止 事業手法見直し その他(事業完了など)
評価コメント 改善策及び展開方向

事務事業評価表(平成31年度)

事業コード 416 課コード 0504 会計種別 一般会計 予算の種類 政策 経常 なし

1. 事業の概要(PLAN)
(1) 事業概要
(2) 目的
(3) 事業内容
(4) 達成目標(期待する成果)
(7) 事業実施上の課題と対応
(8) 施行事項
(9) 財源内訳
(10) 人件費等
(11) 単位費用

2. 事業の評価(DO+CHECK)

評価項目: (1) 事業が今必要である理由・背景は? (2) 市が実施する必要性はあるか? (3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (4) 環境に配慮して事業を進めているか? (5) 目標設定は適切か? (6) 事業費削減の工夫をしているか? (7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か?

3. 事後評価

現状どおり推進 拡充 縮小 結合 休止 廃止 事業手法見直し その他(事業完了など)
評価コメント 改善策及び展開方向

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	1378	課コード	0504	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)																
(1) 事業概要	①事業名	基本事業	相談、マネージメントの充実		実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	健康福祉部・障害福祉支援課							
		個別事業	障害福祉サービス相談支援事業													
	③事業主体	●市 ○その他 ()														
	④対象地区	○我孫子 ○天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐 ■全市														
	⑤事業期間	～														
⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円			当該(開始)年度	(当初)	34,885千円 (うち人件費 22,000千円)									
					(変更後)	千円 (うち人件費 千円)										
⑧施策の位置づけ	施策コード	33301		重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無	部門別計画への位置づけ (計画名) 我孫子市障害者プラン							
(2) 目的	施策目的・展開方向	障害者とその家族を支援するため、いつでも気軽に相談できる体制を整備していきます。また、成年後見制度の活用などにより、権利擁護の促進を図ります。			事業目的	障害者等の自立した生活、社会参加の促進や家族の負担の軽減を図るために各種福祉サービスについての相談や情報提供を行い、障害者とその家族に適切な支援を行います。										
(3) 事業内容	内容	<平成30年9月末現在の障害者手帳所持者数> 障害福祉支援課では、身体障害者が3,490名、知的障害者が940名、精神障害者が949名、また自立支援医療(精神通院)制度を利用している方が2,101名と、合計7,480名に対する以下の各種支援を実施しています。 ・電話・来所・訪問による相談 ・障害福祉サービスの情報提供及び各種申請受付、審査、支給決定事務 ・障害福祉団体等との連携と育成支援 ・障害者(精神)に関する啓発及び相談事業(心の健康クラブ等)の運営 また、平成25年度から民間の相談支援事業所へ相談業務の一部を委託し、連携しながら相談事業を実施しています。			当該年度執行計画	・障害福祉サービスについての相談、各種申請の受付、審査、支給決定事務の実施(随時) ・「心の健康クラブ(月1回)」「心の相談(月1回)」「アルコール教室(月1回)」「メンタルヘルス啓発講座(年1回)」の運営 ・サービス等利用計画に基づく障害福祉サービスの支給決定事務 ・民間の相談支援事業所との報告会の実施(月1回)										
		当該年度活動結果指標	障害福祉サービスに対する相談件数(来所相談・電話相談・家庭訪問等の件数)※基幹相談支援センターにおける相談件数	単位数	件	想定値	30,000	実績値								
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位数	(5) 現況値	(6) 目標値							
当該年度	福祉サービスの周知を図り、必要ときにサービス提供ができるよう支援体制を確立します。民間の相談支援事業所との協力体制の充実させていきます。			直接	来所相談・電話相談・家庭訪問等の件数		件	30,000	30,000							
令和2年度	福祉サービスの周知と民間相談支援事業所等の育成を引き続き図り、必要ときにどこでもサービス提供ができるよう支援体制を確立します。			直接	来所相談・電話相談・家庭訪問等の件数		件		30,250							
令和3年度	福祉サービスの周知を図り、民間相談支援事業所との協働により必要ときにいつでも、サービス提供ができるよう支援体制を確立します。			直接	来所相談・電話相談・家庭訪問等の件数		件		30,500							
(7) 事業実施上の課題と対応	在宅医療や障害者の高齢化、発達障害者や難病等の新たな対象者の増加などにより、複雑かつ多様化する障害者のニーズに対応するため、医療専門職や心理専門職の配置や民間の関係機関との連携について検討を行っていきます。			代替案検討	○有 ●無											
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度								
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)		
			メンタルヘルス啓発事業講師謝礼	66		メンタルヘルス啓発事業講師謝礼	66		メンタルヘルス啓発事業講師謝礼	66		メンタルヘルス啓発事業講師謝礼	66		メンタルヘルス啓発事業講師謝礼	66
			心の健康クラブ講師報償費	26		心の健康クラブ講師報償費	26		心の健康クラブ講師報償費	26		心の健康クラブ講師報償費	26		心の健康クラブ講師報償費	26
			心の相談医師報償費	360		心の相談医師報償費	360		心の相談医師報償費	360		心の相談医師報償費	360		心の相談医師報償費	360
			普通・研修旅費	95		普通・研修旅費	70		普通・研修旅費	70		普通・研修旅費	70		普通・研修旅費	70
			携帯電話使用料	75		携帯電話使用料	65		携帯電話使用料	65		携帯電話使用料	65		携帯電話使用料	65
			消耗品費	254		消耗品費	229		消耗品費	229		消耗品費	229		消耗品費	229
			燃料費	180		燃料費	172		燃料費	172		燃料費	172		燃料費	172
			公用車車検・定期点検料	140		公用車車検・定期点検料	168		公用車車検・定期点検料	168		公用車車検・定期点検料	168		公用車車検・定期点検料	168
	自賠責保険料	26		自賠責保険料	51		自賠責保険料	51		自賠責保険料	51		自賠責保険料	51		
	自動車重量税	17		自動車重量税	17		自動車重量税	17		自動車重量税	17		自動車重量税	17		
	アルコール教室事業委託	84		アルコール教室事業委託	84		アルコール教室事業委託	84		アルコール教室事業委託	84		アルコール教室事業委託	84		
	有料道路・駐車場使用料	28		有料道路・駐車場使用料	28		有料道路・駐車場使用料	28		有料道路・駐車場使用料	28		有料道路・駐車場使用料	28		
	研修負担金	15		研修負担金	15		研修負担金	15		研修負担金	15		研修負担金	15		
	心の健康クラブ相談員報償費	36		心の健康クラブ相談員報償費	36		心の健康クラブ相談員報償費	36		心の健康クラブ相談員報償費	36		心の健康クラブ相談員報償費	36		
	障害者相談員報償費	192		障害者相談員報償費	192		障害者相談員報償費	192		障害者相談員報償費	192		障害者相談員報償費	192		
	聴覚障害者用FAX通話料	78		聴覚障害者用FAX通話料	52		聴覚障害者用FAX通話料	52		聴覚障害者用FAX通話料	52		聴覚障害者用FAX通話料	52		
	相談支援を行う2号嘱託1人・3号嘱託2人	8,783		相談支援を行う2号嘱託1人・3号嘱託2人	9,032		相談支援を行う2号嘱託1人・3号嘱託2人	9,032		相談支援を行う2号嘱託1人・3号嘱託2人	9,032		相談支援を行う2号嘱託1人・3号嘱託2人	9,032		
	臨時職員賃金・共済費	1,993		臨時職員賃金・共済費	2,172		臨時職員賃金・共済費	2,172		臨時職員賃金・共済費	2,172		臨時職員賃金・共済費	2,172		
	障害者啓発事業講演会報償費	50		障害者啓発事業講演会報償費	50		障害者啓発事業講演会報償費	50		障害者啓発事業講演会報償費	50		障害者啓発事業講演会報償費	50		
	産休代替臨時職員賃金1人	3,229		産休代替臨時職員賃金1人			産休代替臨時職員賃金1人			産休代替臨時職員賃金1人			産休代替臨時職員賃金1人			
	予算(決算)額	合計		合計	12,885		合計	12,885		合計	12,885		合計	12,885		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0.1%	16	補助率	0.2%	16	補助率	0.2%	16	補助率	0.2%	16	補助率	0.2%	
	県支出金	補助率	0.05%	8	補助率	0.08%	8	補助率	0.08%	8	補助率	0.08%	8	補助率	0.08%	
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	
	一般財源			15,703			12,861			12,861			12,861			
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他			0		0		<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0		<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	
(10) 人件費等	換算人数(人)				2.3		2.5		2.8		2.8		2.8		2.8	
	正職員人件費				20,240		22,000		24,640		24,640		24,640		24,640	
	嘱託職員報酬額				8,783		9,032		9,032		9,032		9,032		9,032	
	臨時職員賃金額				5,222		2,172		2,172		2,172		2,172		2,172	
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)				35,967		34,885		37,525		37,525		37,525		37,525		
(11) 単位数費用 (事業費/活動結果指標)				1.44千円/件		1.16千円/件										

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価			事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
	障害者が地域で自立して生活を送るためには、日常生活に関する様々な相談を気軽にでき、必要な支援を行う場が非常に重要であり、障害者総合支援法においても地域の相談支援体制づくりが障害者の地域生活のために必要不可欠なものとされています。			○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他 <その他の内容>			○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>				○要 ○不要	
	●②自治体である市が推進すべきである(理由) <input type="checkbox"/> 市が主導で進めることにより実効性が得られる <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input type="checkbox"/> 市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる <input type="checkbox"/> その他 <その他の内容> 該当なし								
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容			工夫の具体的な内容				実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)	
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし							○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>	
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点			取組む内容				実施した具体的な内容	
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし							環境への配慮 ○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(件)	目標値(b)(件)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成		
	30,000	30,000	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(件) 達成率(%) (f/b×100)		<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	■①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 ■③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 ■④民間委託 <削減の内容>		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	<想定どおり削減できなかった原因>		
事業費削減率(%)		3.01		<超過理由等>					
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	目標値対事業費(e)			計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下	
	単位数	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	86		10万円						

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									
評価	評価コメント					改善策及び展開方向			

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1381), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial breakdowns for fiscal years 30, 31, and 32.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes checkboxes for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充) and a space for comments.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (1882), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial data for fiscal years 30, 31, and 32.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（平成31年度）

Header table with columns: 事業コード (2072), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (2082), 課コード (0504), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project overview table including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向